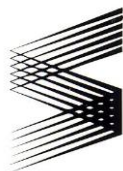


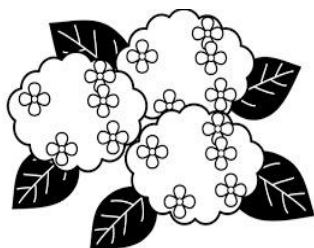
平成29年度

学校だより
平成29年5月29日



さつきが丘 6月号 第293号

まなびあい みとめあい とものにのびよう さつきっ子



元気にあいさつすてきな子

副校長 安東 光

木々の葉が深緑となり、一足早い夏を思わせる強い日差しを受けて光り輝く季節となりました。さつきが丘小学校の子どもたちは、休み時間には、この暑さにも負けず、友達と一緒に元気いっぱい外で体を動かし、健康的な汗を流しています。

私は、昨年度からほぼ毎朝「さつきが丘小学校入り口」交差点の信号のところに立ち、学援隊やPTAの方達と共に登校指導をしています。初めのうちは、私が「おはようございます。」と子どもたちに声をかけても返事が返ってこないことがありましたが、今は、私より先に気持ちの良い挨拶をしてくれる子が増えています。小さな1年生が、私の名前をフルネームで呼んで丁寧に挨拶してくれた時は、私の名前を覚えていてくれたことに驚き、進んで気持ちの良い挨拶してくれたことをとてもうれしく思い、心が温かくなりました。

5月8日の朝会で、学校長が「挨拶で大切なこと」の話をしました。「あかるく、いつでも、さきに、つづけることが大切です。」と「あいさつ」の四つの頭文字の言葉で分かりやすく説明すると、子どもたちは、頷きながら聞いていました。

挨拶は、人と人をつなぐ大切なコミュニケーションツールです。私たちがどんな外国語を学ぶ場合でも、まず最初に学ぶのは、挨拶の言葉です。1番大切な言葉だから1番最初に学びます。互いの思いを伝え合い、関わりを深める第一歩が、挨拶です。

その日の気分や体調、子どもたち個々の特性、出かける前の家での出来事など、様々な要因で挨拶ができないこともあります。それは、子どもたちだけではなく、私たち大人も同じです。心身共に健康でなければ気持ちの良い挨拶はできないものです。

時と場に応じた気持ちの良い挨拶ができる人は、周囲の人を幸せにし、自分自身も幸せになれる人だと思います。さつきが丘小学校に関わる全ての人達の間で、互いに気持ちの良い挨拶が交わされる、そんなすてきなコミュニティを創っていきたいと思います。